

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	家族の意向、安全面等課題はあるが、職員の思いや施錠による弊害を踏まえて時間を決めて短時間でも開錠する等今後も検討を重ねていただきたい。	職員の意識の中で、出入り口の施錠が常態化しない。利用者の意志を尊重した取り組みを更に検討する。 開錠について、ご家族の理解や協力を得たうえで、開錠方法や時間を検討する。	職員の意識の中で、出入り口の施錠が常態化しないように、身体拘束について定期的に振り返る機会を持ち、利用者の意志を尊重した取り組みについて検討を行う。 ご家族全員に開錠について了承を得るため、開錠への取り組み方法や目的を説明する。	12ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。